

令和2年度 第1回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録

- 1 日時 令和2年8月21日(金) 午後3時~4時30分
- 2 場所 生涯学習センター 第1教室
- 3 出席者 井藤委員、川井委員、中島委員、岡本委員、長富委員、田村委員、鈴木委員、住吉委員、山本委員、押田委員(社会教育主事)
(練馬区)文化・生涯学習課長
(事務局)生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 長田委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 挨拶
 - (2) 委員紹介
 - (3) 文化・生涯学習課事務局職員紹介
 - (4) 正副座長選出
 - (5) 議題
令和元年度事業結果報告について
令和2年度事業結果報告(4月~7月)および事業予定について
主な事業ごとの目標指数について
 - (6) その他
- 7 配布資料
 - 資料1 令和2年・3年度練馬区立生涯学習センター運営懇談会委員名簿
 - 資料2 練馬区立生涯学習センター運営懇談会設置要綱
 - 資料3 令和元年度事業結果報告
 - 資料4 令和元年度施設利用実績
 - 資料5 令和2年度事業結果中間報告
 - 資料6 令和2年度事業予定
 - 資料7 主な事業ごとの目標指数について

8 会議の概要

(1) 挨拶

稲永 陽子 文化・生涯学習課長挨拶

(2) 委員紹介

委員自己紹介

(3) 文化・生涯学習課事務局職員紹介

職員紹介

(4) 正副座長選出

<所長> 生涯学習センター運営懇談会について、練馬区立生涯学習センター運営懇談会設置要綱に基づき説明します。(要綱の説明)

続いて座長の選出です。運営懇談会設置要綱第3条第2項に「座長は委員の互選により選出する」と規定があります。ご推薦をお願いします。

<委員> 川井委員をご推薦申し上げます。

<所長> ご推薦の声がありました。皆様いかがでしょうか。

(拍手)

<所長> 皆様からご賛同をいただきましたので、川井委員に生涯学習センター運営懇談会座長をお願いします。

運営懇談会設置要綱第3条第2項の規定により、副座長は座長が指名することになっていますので、副座長のご指名をお願いします。

<座長> 岡本委員にはサークル作品展をはじめ、責任者として活躍され、いろいろとお考えいただき、この運営懇談会でもお助けいただきました。よろしくければ、お願いしたいと存じます。いかがでしょうか。

(拍手)

<所長> 岡本委員には、副座長をお願いします。座長、副座長のお二人から就任のご挨拶をお願いします。

<座長> 公民館運営審議会の頃から関わっています。教育委員会の公民館の時に比べて、区長部局の生涯学習センターに変わり、以前よりも幅広く取り組めるようになっていきます。様々な分野でご活躍の委員の皆様のご意見を反映させる機会とと思います。以前は年3回でしたが、現在は2回の開催です。生涯学習センターの活性化のため、皆様の活発なご意見をお願いします。

<副座長> コロナを経験し、これから2年間の委員任期のなかで、生涯学習センターが一味違うようになったと感じてもらえるように積極的に意見交換できる場をつくりたいと思います。その補佐役として、よろしくお願いします。

<所長> 進行を座長にお譲りします。よろしくお願いします。

<座長> 議事に入る前に、本日の出席委員数の報告を事務局からお願いします。

<副所長> 本日の出席委員は10名で、1名欠席です。なお、傍聴はありません。

<座長> 議事に入ります。事務局から資料に沿って説明をお願いします。

(5) 議題

令和元年度事業結果報告

所長から資料3に基づき説明（内容省略）

令和元年度施設利用実績

所長から資料4に基づき説明（内容省略）

（ についての意見、質問等）

<座長> 報告の中で、和室の利用が少ないようですが、コロナの影響でしょうか。

<所長> コロナでの利用者減の影響は、3月からです。

<委員> 利用統計で、施設利用者の地域別や年代別がつかめるといいと思います。

<所長> 各部屋は、団体登録でのご利用で、団体の利用者の内訳の把握が難しい面があります。

<副座長> 利用者アンケートで、地域などを尋ねる方法もあるのではと思います。数字という結果を認識し、評価をするなかでの要素として取入れられたらと思います。

<所長> 今後、アンケートで対応して参ります。

<委員> 教室の予約がとれずにやむなく和室を使うことがありますが、座卓が低く、工芸等には不向きに感じます。

<座長> 施設側で全て用意することが難しい面もあります。利用者の側で、用意できるものがあれば用意するという考え方もあると思います。工夫をしながら使っていくらしたいと思います。

<委員> たくさんの部屋数があるなかで、防音装置の整った部屋が一つあればと思います。

<所長> 完全な防音ではありませんが、視聴覚室が、二重窓、防音扉の仕様となっています。

<委員> 音は、扉と窓から伝わるそうです。和太鼓は防音しても壁からも伝わってしまいます。和太鼓の音は、洋楽器のドラムの比ではありません。ホテルの宴会場の太鼓が屋上に響くこともあります。かなりの設備対応が必要になるでしょう。

<座長> 和太鼓の団体の活動場所が限られて困っていると聞きます。和の文化の継承は大事なことです。完全防音の部屋が一つあればと思いますので、今回の改修工事では無理でも将来の改築工事への申し送りにしたいと思います。

また、工芸に使用できる区立施設はかなり限られます。ポンドや水が使えないという施設もあります。何か活動したいときに受け皿となる施設が必要だと思います。

令和2年度事業結果中間報告および事業予定について
所長から資料5、6に基づき説明（内容省略）

（ についての意見、質問等）

<座長> コロナで事業が軒並み中止となり残念です。開催する事業は、応援したいと思います。コロナで先行き不透明ですが、文化団体、サークル文化祭等それぞれご意見をいただきたいと思います。

<委員> 尺八の公演が全て中止となりました。やる気はありますが、練習ができなくなり、秋の区民文化祭も困難となりました。コロナの来年の収束を願うばかりです。来年は是非と意気込んでいます。

<委員> 予算の問題もありますが、他の区でいいからと同じように取り入れるのではなく、他の区にはない魅力のあるものを区にはつくってほしいと思います。

<課長> コロナで財政状況が厳しい状況ですが、工夫をしてできることは取組みたいと思います。

<委員> サークル文化祭の舞台発表会は、来年3月の開催で調整しています。区民文化祭の民謡は、来年5月の開催を予定しています。

<委員> 社交ダンスで、利用しています。マスク着用、シャツは長袖、手袋をし、踊る人数も減らしています。号令、カウントなどなるべく発声しないようにしています。特に遊びのなかで、感染しないようにと注意しています。社会状況によりますが、社交ダンスを続けたいと思います。

<委員> 将棋は、コロナでの施設利用制限の解除が最後になりました。対面で行いますが、マスクをし、声を発することはありません。行政側に認識を改めてもらうように働きかけをしていくことが必要だと感じました。

区後援事業で、将棋の団体戦を行ってきましたが、今年度の開催日は未定です。参加者から開催への要望が強いため、形式を変えるなり対応して開催したいと考えています。

<委員> コロナでサークル作品展が中止となり残念ですが、次の作品展に出品できるように日々活動しています。

<委員> 私の周りでは、生涯学習センターを知らないという人がかなりいて、残念です。宣伝としての生涯学習センターのホームページを見ると、1ページ目が地味だと感じます。現在募集中の事業が目立つといいと思います。区報が一番の宣伝効果と聞きますが、ここ10年で新聞の発行部数が25%減少と聞きます。新聞に折込の区報も皆さんの目に触れる機会が減っていると思います。30代、40代くらいの世代に事業の宣伝をする方法を考えなくてはと思います。

<委員> 青少年館の社会教育事業は密になるものが多いです。コロナのなかでの事業

について試行錯誤で取り組んでいるところです。

<座長> 委員の皆さんからご発言をいただきました。密は避けたいが、参加はしてほしいという難しい状況で、皆さんご苦労されています。

生涯学習とは何かと考え、地域の小規模な区立施設と異なる生涯学習センターの役割を考えた時に何でもできる場所であってほしいと願います。利用者の皆さんの働きかけが必要と思います。

少しPRになりますが、今日の区報に「ねりま手工芸公募展」の記事が載りました。一般区民の手工芸の発表の場がないなかで、行政と5年間話し合い開催にこぎつけ、今年で8回目を迎えます。区長賞、会場の石神井公園ふるさと文化館の館長賞などがあり、出品者の皆さんの励みになっています。よろしければお運びください。

資料7の説明をお願いします。

主な事業の目標指数について

所長から資料7に基づき説明（内容省略）

<座長> 目標値に達するように皆さんで、考えていきたいと思います。縁ジョイ倶楽部は始まって3年が経ちます。とてもよい内容なだけに折角、参加しても継続されないことが残念です。好きなものはいつまでやっても飽きないと思います。何か一つ楽しみが見つかるまでは、いろいろと手を出してもと思います。この場で、解決策は難しいと思いますが、皆さんのお知恵をお願いします。

<委員> 事始めとして、あくまで趣味の中で楽しむため、あっさりとして手軽に気軽に始めたい方と、その歴史からまさに一からしっかりと学びたいと思われる方に分かれ、さらにやっているうちにプロフェッショナルを志す方もいるようです。まさに多様化しています。

(6) その他

<座長> その他でありましたら、事務局からお願いします。

<所長> 来年6月1日から休館の方向で準備しています。工事終了は平成4年の秋までを予定しています。建物のコンクリート部分はそのままで、空調、電気などの設備を中心に更新の予定です。雨漏り箇所も補修する予定です。

休館期間中は、高野台の生涯学習センター分館で事業開催の予定です。ホールでの事業は開催時期を変更の予定です。

<座長> 工事期間中は、施設内に立入りはできますか。

<所長> その間は、閉鎖します。

<委員> 事務局の機能はどうなりますか。

<所長> 工事期間中、区職員は、高野台の生涯学習センター分館で勤務予定ですので、窓口もそちらに移ります。

<委員> 改修でホール楽屋への楽器の搬入の際、通路が広くなるといいと思います。

<所長> 楽屋出入口は、バリアフリー化で改修の予定です。

<座長> 他になければ、副座長から一言お願いします。

<副座長> コロナでいろいろと中止となるなかで、皆さんの達成感が失われてしまうことが心配です。

他の区の真似のようなことでは面白くないというご意見も出ました。

今話題の将棋の藤井二冠（棋聖・王位）は、コロナのなか、対戦相手を研究したのではなく、自分を研究しタイトルを獲得したそうです。そこで、今だからこそ、自分たちの強み、弱みを考えて、次のステップにつながるような状況にしていければと思います。そのなかで、お手伝いできることがあれば、一緒に考えていきたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

<座長> コロナの外出抑制で時間ができたととらえて、自宅で何かしてみようと思うときにできる何かがあることは強みです。

次回、また皆さんで話し合いができればと思います。よろしくお願いします。